



「新中期ビジョン」の視点

(平成 25 ~ 27 年度)

震災を乗り越え新たな地域社会の構築

さまざまな環境変化に柔軟に対応するため
商工会議所の強みを生かして事業を推進

企業活力

復興

- 東北における仙台的牽引力・発信力強化
⇨東北における被災地の復興なくして仙台の発展なし
- 日本商工会議所・全国 514 商工会議所ネットワークによる震災復興支援
- 東北六県商工会議所連合会・宮城県商工会議所連合会の機能を生かした広域的視点での事業推進

地域力

組織力

「新中期ビジョン」の詳細はホームページをご覧ください

仙台商工会議所

検索



DC 総決起大会

『企業活力』強化

『地域力』強化

『組織力』強化

【平成 25 年度 スローガン】 復興！会員とともに活気あふれる仙台へ

当所では震災を乗り越え、新たな地域社会の構築に向けて平成 25 年度～ 27 年度3年間の「新中期ビジョン」を策定しました。25年度は「中期ビジョン」のもと3つの「力」の強化を図り、震災からの環境変化に対応しながら全国の商工会議所とのネットワークなど会議所の強みを生かした事業活動を展開します。

1 地域中小企業への経営支援強化及び創業・経営革新支援

- 経営指導員や専門家による経営相談機能の強化を図り、多様化する個別案件に対応し企業の成長を支援します。
- 中小企業金融円滑化法終了に伴う「事業再生支援」に対する相談窓口を設置するとともに、「マル経」の震災対応特枠や仙台市の利子補給制度の継続、さらには地元金融機関との連携などによる復旧・復興に向けた資金繰りを支援します。
- 企業の創業・経営革新、企業誘致等によって新事業の展開や地域の雇用創出を支援します。
- 年間を通しセミナー・講演会・実務検定試験を実施し、環境変化に柔軟に対応できる企業の人材育成を支援します。
- 企業の様々な「リスク」対策並びに連鎖倒産・業務災害などの備えを会議所共済により支援します。

2 販路回復・拡大並びにビジネス交流支援

- 「販路回復・拡大の相談窓口」を設置し、バイヤー経験を持つコーディネーターによる専門的アドバイスや商談会等を開催するとともに、関係機関との連携のもとに首都圏等で行われる見本市や展示会への参加、中小企業の海外における販路開拓を支援します。
- さまざまなテーマ設定による交流会を開催しビジネスパートナー発掘や人脈形成を支援します。
- 3都市「仙台・米沢・会津若松商工会議所」工業部会等、他都市との交流会・商談会を実施し、地域を越えたビジネスマッチングにより「ものづくり力」を強化します。

3 広域的な被災地支援活動の積極展開

- 「遊休機械マッチング支援」及び「販路拡大」など東北全域の復興支援について、全国の商工会議所のネットワークを活用した情報発信を行うほか、広域連携による事業の推進を図ります。

4 観光の推進や交流人口拡大を目指した全国への情報発信の強化

- 平成25年仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)(4～6月)、DC 春の仙台七夕(5月)、「東北六魂祭」(6月福島)、慶長遣欧使節出帆400年記念事業、東北の四季ごとの祭りで構成する東北まつりネットワークの活動などの取り組みを有機的に結び付けるとともに、「日韓商工会議所首脳会議」(6月)、「全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会」(9月)の開催、プロスポーツ支援、国際会議・学会等のコンベンション誘致や仙台空港の利用促進などによる国内外の交流人口拡大で地域活力を高めます。
- 「東北の復興観光ガイド」を作成する等、あらゆる機会を捉え震災風化防止・風評被害払拭に向けて、安全・安心と復興へがんばる東北の姿を国内外へ情報発信します。

5 地域資源の活用と中心部・周辺部の特性を生かした活気あるまちづくりの推進

- 地下鉄東西線沿線のまちづくり推進や、仙台城など青葉山エリアの一体的な整備、仙台貨物ターミナル駅移転による物流機能の強化などへの具申や、安全・安心なまちづくりの強化と地域コミュニティの中核である商店街の活性化支援、個店の資源を生かした「まちゼミ」の拡大実施などの事業を通じ、各地域の特性を生かした賑わい創出並びに仙台の魅力向上、防災力強化に努めます。

6 地域オピニオンリーダーとして政策提言・要望活動の展開

- 復興へスピードある諸施策の実現のため、刻々と変化する復旧・復興の局面に応じ現場の声を汲み取り、宮城復興局への派遣職員との連携を密に迅速な情報共有により的確な意見反映に努めます。
- 地下鉄東西線建設をはじめ、経済活動の基盤となる空港、港湾、道路、鉄道・通信網などの早期復旧、災害対応のための機能拡充を要望するとともに、利用促進に努めます。

7 組織の強化とニーズを反映した取り組み

- 全国 514 商工会議所 120 万会員のネットワークと仙台商工会議所 7,600 会員のスケールメリットを生かした事業展開を図るため会員組織強化に努めます。また、全職員による会員訪問や会員アンケートにより継続的にニーズを把握し、事業への反映と情報発信力の強化により会議所活用の利便性を高めます。
- H25年「議員・役員」の改選の年にあたることから、多様な参画による活発な組織運営並びに機動的な事務局体制の確立に取り組みます。

平成 24 年度活動実績 (抜粋)

平成 25 年 3 月 15 日 現在

- 専門家相談事業 (252件)
- エキスパート派遣事業 (181件)
- マル経融資制度 (震災対応特枠と利子補給支援事業)
 - ・マル経推薦実績 218 件 9 億 9,770 万円
 - うち、震災対応特枠 (利子補給支援) 140 件 6 億 1,650 万円
- 販路拡大商談会 (ビジネスマッチ東北ほか 12 回 362 社)
- ビジネス交流会 (支店長・新入会員ほか 7 回 674 名)
- 人材育成セミナー・講演会 (24 回 参加者 958 名)
- 遊休機械・パソコン無償マッチング支援事業
 - マッチング・遊休機械 1,890 件 (9 会議所地区)
 - ・パソコン 956 社 (11 会議所地区)



ビジネスマッチ東北



遊休機械マッチング贈呈式

- ブレDC・仙台七夕・東北六魂祭・東北観光博の開催や東北まつりネットワークによる共同宣伝活動の実施
- 仙台初売り活性化、年末お客様感謝祭の実施
- 震災風化・風評被害払拭対策 (各キャンペーン、視察・訪問団誘致促進パンフレット、近況メッセージカード等の作成・配布)
- お店のプロが「ワザ」や「コツ」を教えてくれる「まちゼミ」の開催 22 店舗 26 講座・参加者 424 名



まちゼミ



みやぎ・元気をありがとうキャンペーン

- 国・県・市等への政策提言・要望活動 (六県連・県連共同要望含む 5 回)
- 会員ニーズ調査事業 (4 月: 1,521 社回答)
- 被災地域事業所訪問活動 (11 月・12 月: 1,146 社)



自民党安倍総裁への要望